【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第１区分
【発行日】平成19年5月31日(2007.5.31)

【公開番号】特開2001-286864(P2001-286864A)
【公開日】平成13年10月16日(2001.10.16)
【出願番号】特願2000-108480(P2000-108480)
【国際特許分類】
　　Ｃ０２Ｆ　　1/44　　(2006.01)
　　Ｂ０１Ｄ　63/02　　(2006.01)
　　Ｂ０１Ｄ　65/08　　(2006.01)
　　Ｃ０２Ｆ　　1/28　　(2006.01)
【ＦＩ】
　　Ｃ０２Ｆ　　1/44　　　　Ｈ
　　Ｂ０１Ｄ　63/02
　　Ｂ０１Ｄ　65/08
　　Ｃ０２Ｆ　　1/28　　　　Ｆ

【手続補正書】
【提出日】平成19年4月10日(2007.4.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
　【請求項１】　原水を固液分離する分離膜モジュールが膜分離槽内に備えられた浸漬型膜分離装置であり、膜分離槽内には、さらに以下の炭素繊維ユニットが具備されていることを特徴とする浸漬型膜分離装置。
炭素繊維ユニットは、複数本の炭素繊維がシート状に配列された炭素繊維シート状物からなり、炭素繊維シート状物は、炭素繊維からなる横糸が互いに略平行にシート状に配列され、前記横糸の配列間隔が１列以上の縦糸によって保持されたシート状物であり、前記縦糸がラッセル編みを形成していて、編み目には前記横糸が通されて固定されている。
【請求項２】　請求項１に記載の水処理装置を備えていることを特徴とする水処理システム。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００５
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００５】
【課題を解決するための手段】
　本発明の浸漬型膜分離装置は、原水を固液分離する分離膜モジュールが膜分離槽内に備えられた浸漬型膜分離装置であり、膜分離槽内には、さらに以下の炭素繊維ユニットが具備されていることを特徴とする浸漬型膜分離装置である。そして、炭素繊維ユニットは、複数本の炭素繊維がシート状に配列された炭素繊維シート状物からなり、炭素繊維シート状物は、炭素繊維からなる横糸が互いに略平行にシート状に配列され、これら横糸の配列間隔が１列以上の縦糸によって保持されたシート状物であり、前記縦糸がラッセル編みを形成していて、編み目には横糸が通されて固定されている。また、本発明の浄水システムは、上記の浸漬型膜分離装置を備えていることを特徴とする。